





乙女

12
4366
72

乙女



けきいふと約なり
名とせり源氏正二の日月
より正四十月十そ月之
ふとけし女といふ事
入るの形相之むと
けし清えりてん五
あふたれんくみ付雲
の中は天女はすくわ
と進四このあふは合

せうひ袖とてひあ
うとこれきうり
毎年十一月にすひ作
人知してすらせらぬ
あり源氏の流るるよ

さねよの

乙女子

神

あき川

あろく

けまのあどろくあそ
せりて榮院卅五年三月
より上二のすま
あろくあろくあろく
のあそこはあそあそ
あそあそあそあそ
あそあそあそあそ
あそあそあそあそ
あそあそあそあそ
あそあそあそあそ
あそあそあそあそ

の右近より女よはむひまひ
右を源氏へてむえをり
ぬ後小むげられぬのうこ
ふらりくむらうられぬ結
とせしとむらうらよ

あまふ

あまふ

むらうらうらうらうらうら

むらうらうらうらうらうら

